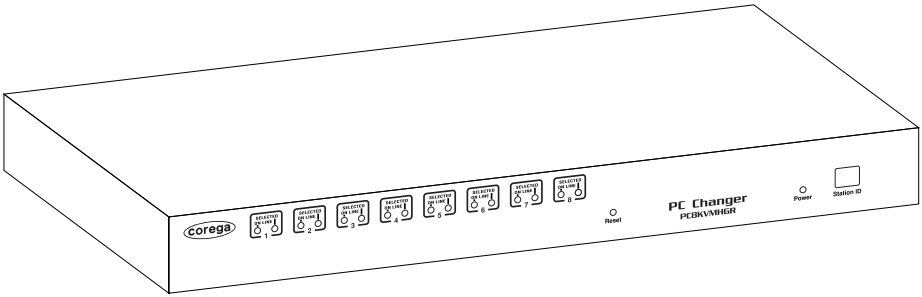
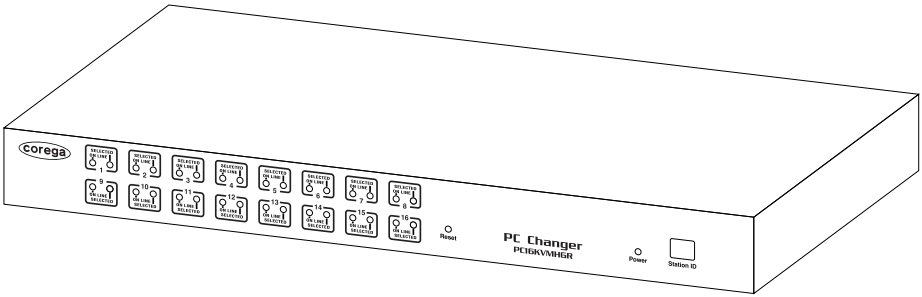
corega

CG-PC8KVMHGR
CG-PC16KVMHGR

取扱説明書





PN Y613-08808-00 Rev.A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠ 警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

△ この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例） 「発火注意」

⃠ この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例） 「分解禁止」

● この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例） 「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠ 警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用ACアダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外のACアダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（またはACアダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（ACアダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品（ACアダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。
換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしなしでください。
- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。
本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。
落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となることがあります。

はじめに

このたびは、「CG-PC8KVMHGR」および「CG-PC16KVMHGR」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。	メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-PC8KVMHGRおよびCG-PC16KVMHGRのことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
［　］	［　］で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → ［OK］
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版のことです。

※本書では、複数のOSを「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト / 画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

導入ガイド

本書は本商品に関する情報や使用法について説明しており、取付けや設置方法、操作方法などを提供しています。本書の構成は次のとおりです。

■PART1…本商品について

本商品の概要や特徴、本商品を使用する際に必要な環境や同梱品の一覧、各部の名称と機能を説明しています。

■PART2…本商品に接続する

本商品の接続について説明しています。

■PART3…ホットキーでの操作

本商品のホットキー操作について説明しています。

■PART4…OSDメニューについて

本商品のOSD（オンスクリーンディスプレイ）についての説明や、OSDの操作方法について説明しています。

■付録

トラブルシューティングやラックマウントキットの使用方法、本商品の仕様などが記載されています。また、保証や修理、弊社サポートセンタへの連絡先なども記載されています。

目　次

はじめに 3
本書の読み方 3
導入ガイド 4

PART1　本商品について 7

商品概要 7
商品の特徴 7
必要要件 8
■コンソール 8
■パソコン 8
■ケーブル 8
同梱品一覧 9
各部の名称と機能 9
■前面 9
■背面 10

PART2　本商品に接続する 11

接続の前に 11
本商品を単体で運用する場合（1 段階接続） 11
デイジーチェーン接続で運用する場合 12
ホットプラグについて 14
■ステーション位置の変更 14
■ CPU ポートのホットプラグ 14
■コンソールポートのホットプラグ 14
ポート ID 番号 15
本商品を再起動する 15
本商品の電源をオフにする 16

PART3　ホットキーでの操作 17

ホットキーとは 17
ホットキーモードへの切替方法 17
■ホットキーモードを解除するには 18
アクティブなポートの選択 18

オートスキャン 18
■スキャンインターバルの設定 18
■オートスキャンを開始する 19
■オートスキャンを終了する 20
スキップモード 20
■スキップモードを開始する 20
■スキップモードを開始する 21
ビープ音コントロール 21
ホットキー一覧表 22

PART4　OSD メニューについて 23

OSD とは 23
■ OSD メイン画面を表示するには 23
OSD の使用方法 24
■ OSD メイン画面一覧 25
OSD ファンクション 25
■ OSD ファンクションの使用方法 25
■F1 GOTO 26
■F2 LIST 26
■F3 SET 27
■F4 ADM 28
■F5 SKP 32
■F6 BRC 32
■F7 SCAN 33
■F8 LOUT 34

PART5　付録 35

トラブルシューティング 35
ラックマウントキットの使用方法 36
パソコン接続表 36
工場出荷時の OSD 設定一覧 37

商品仕様 38
保証と修理について 38
おことわり 39
商品に関するご質問は･･･ ..... 巻末

PART 1

本商品について

商品概要

CG-PC8KVMHGRおよびCG-PC16KVMHGRは１組のコンソール（キーボード、マウス、モニタ）で複数のパソコンへのアクセスを可能にするコントロールユニットです。 本商品を使用すると、簡単に複数のパソコンを操作できます。

商品の特徴

- **１台のコンソールで、複数のパソコンを操作可能**
  CG-PC8KVMHGRは最大８台／CG-PC16KVMHGRは最大16台接続可能
- **デイジーチェーン接続対応**
  最大で32台（親機を含む）のCG-PC16KVMHGRをデイジーチェーンケーブルで接続すると、最大512台のパソコンがコントロール可能
- **ソフトウェア不要**
  ホットキーまたはOSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューを使用して、簡単にパソコンの切替えが可能
- **オートスキャン機能搭載**
- **ホットプラグ対応**
  電源を入れたままで、パソコンの取り付け、取り外しが可能
- **デイジーチェーン接続時にステーション位置を自動検出**
  フロントパネルのLEDでステーション位置を分かりやすく表示
- **デイジーチェーン接続の構成を変更した際にポートネームを自動で再構成**
- **２レベルパスワードによるセキュリティ機能**
  権限を与えられたユーザのみがパソコンを閲覧・管理することができ、最大４人までのユーザおよび１人のアドミニストレータがそれぞれのシステムプロフィールを設定可能
- **PS/2キーボード／マウス エミュレーション**
- **PS/2マウス※、Microsoft Intellimouse Explorer※、Logitech FirstMouse+※ 対応**
- **最大1,920 × 1,440のモニタ解像度に対応**
- **19インチラックに収まる1Uサイズ**
- **ファームウェアアップグレード可能**

メモ **※一般的なスクロールホイール付き3ボタンマウスに対応しています。**

必要要件

■コンソール

・接続するパソコンの解像度に適したVGA、SVGAまたはマルチシンク対応モニタ
・PS/2キーボード
・PS/2マウス

■パソコン

接続するパソコンには次のものが必要です。

・VGA、SVGAまたはマルチシンクカード
・ミニDIN6ピン（PS/2）のマウスポート
・4番ピンがDC+5V、3番ピンがアースのミニDIN6ピン（PS/2）キーボードポート、または5番ピンがDC+5V、4番ピンがアースのDIN5ピン（ATタイプ）キーボードポート

・本商品はシリアルマウスに対応しておりません。シリアル⇔PS/2変換コネクタを使ってシリアルマウスを接続しても正しく動作しません。
・ATスタイルキーボードソケットを使用しているパソコンをお使いの場合は、パソコンのキーボードポートにケーブルを挿し込むために、PS/2 から AT キーボードに変換するアダプタが必要となります。

■ケーブル

本製品を使用するには、次のケーブルが必要です（ケーブルは別売です）。

●PS/2 KVM ケーブル（スイッチ側：SPHD-15 ／パソコン側：PS/2）
KVMCBLS180（1.8m）、KVMCBLS300（3.0m）、KVMCBLS600（6.0m）

●USB KVM ケーブル（スイッチ側：SPHD-15 ／パソコン側：USB）
KVMCBL18U（1.8m）

また、本商品をデイジーチェーン接続して使用する場合は、次のケーブルも必要です。

●デイジーチェーンケーブル（D-Sub25 オス／ D-Sub25 メス）
CG-KVMCBLD060（0.6m）、CG-KVMCBLD180（1.8m）、CG-KVMCBLD300（3.0m）

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがありますので、弊社製の対応ケーブルを使用してください。

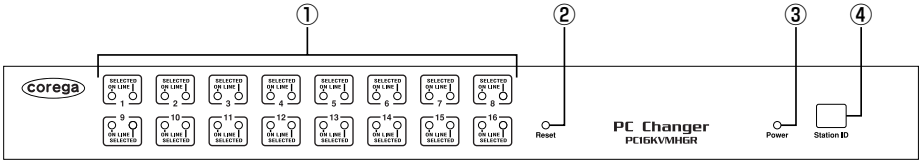
同梱品一覧

□ CG-PC8KVMHGR または CG-PC16KVMHGR　本体
□ファームウェアアップデート用ケーブル（1.8m）
□専用 AC アダプタ　□ラックマウントキット（ブラケット× 2、ネジ× 4）
□取扱説明書（本書）　□製品保証書

メモ　ファームウェアアップデート用ケーブル（CG-KVMCBLFW）とラックマウントキット（CG-KVMRKMT2）は、別売で追加購入することも可能です。

各部の名称と機能

■前面(図はCG-PC16KVMHGRです)



①ポート LED

ポート LED はパソコンを接続したポートの状態を表示します。各ポートに２個の LED があり、左側が ON LINE LED、右側が SELECTED LED です。

・ON LINE LED（橙）
　点灯：パソコンが接続されています。
　消灯：パソコンが接続されていないか、電源がオフの状態です。
・SELECTED LED（緑）
　点灯：接続したパソコンが選択されてます。
　点滅：接続したパソコンがオートスキャンモードで選択されてます。
　消灯：接続したパソコンが選択されていません。

② Reset スイッチ

キーボードやマウスが反応しない場合に使用します。クリップの先など、先のとがったもので押してください。

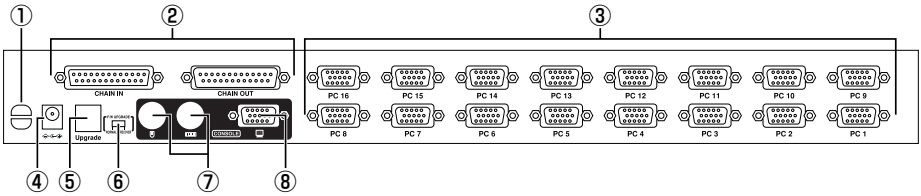
③ Power LED（青）

本商品の電源が入っているときに点灯します。

④ Station ID LED

本商品の Station ID が表示されます。単体での使用、またはデイジーチェーン接続の１段階目は「01」と表示されます。デイジーチェーン接続の際、本商品は構成の中の位置を自動検出し、適切な Station ID を表示します。

■背面(図はCG-PC16KVMHGRです)



①ケーブルタイスロット
ケーブルタイを使用してケーブルを束ねて整理したい場合は、このスロットでユニット本体に固定することができます。

②デイジーチェーンポート
デイジーチェーン接続するときに、専用ケーブル（別売）を接続します。詳細は「デイジーチェーン接続で運用する場合」（P.12）をご覧ください。

③ CPU ポートセクション
パソコンとの接続に使用する KVM ケーブル（別売）を接続します。

注意 **CPU ポートセクションのコネクタには、通常の HDB-15 コネクタを持つ VGA ケーブルを接続することはできません。**

④ DC ジャック
付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

⑤ファームウェアアップグレードポート
ファームウェアをアップグレードする場合に、付属のファームウェアアップデート用ケーブルを接続します。

⑥ファームウェアアップグレードリカバリスイッチ
通常は「NORMAL」ポジションで使用します。

注意 **ファームウェアのアップグレードは、現在予定されておりません。**

⑦ PS/2 ポート
コンソール側のキーボードとマウスを接続するためのポートです。

⑧ VGA ポート
コンソール側のモニタを接続するためのポートです。

PART 2

本商品に接続する

接続の前に

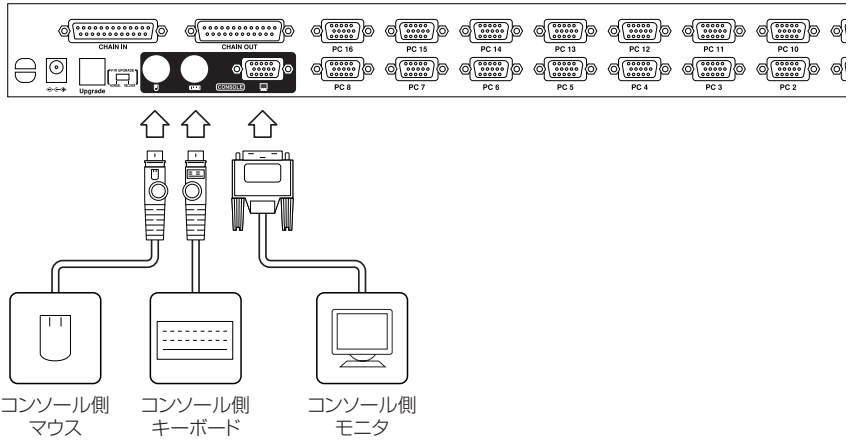
本商品に機器を接続する前に、次の点をご確認ください。

・接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認してください。パソコンに接続されているキーボードに起動機能がついている場合は、パソコンの電源ケーブルも抜いてください。

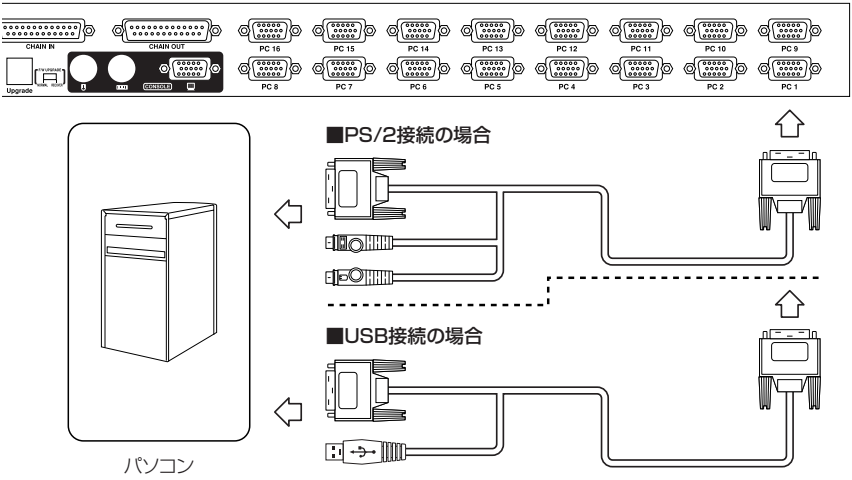
本商品を単体で運用する場合（1段階接続）

本商品を単体で運用する場合、次の手順で接続してください。

1　コンソール側のキーボード・マウス・モニタの各ケーブルを、本商品背面の PS/2 ポートと VGA ポートに、それぞれ接続します（ポートは PC99 準拠のカラーリングが施されています）。



2　KVMケーブル（別売）を使用して、本商品背面の空いているCPUポートにパソコンを接続します。



3　本商品背面のDCジャックに、付属のACアダプタを接続し、電源コンセントにプラグを挿し込みます。

4　パソコンの電源をオンにします。

以上で接続は完了です。

注意　**デイジーチェーンポートは、本商品を単体で運用する場合には使用しません。本商品をデイジーチェーン接続して使用するには、「デイジーチェーン接続で運用する場合」（本ページ）をご覧ください。**

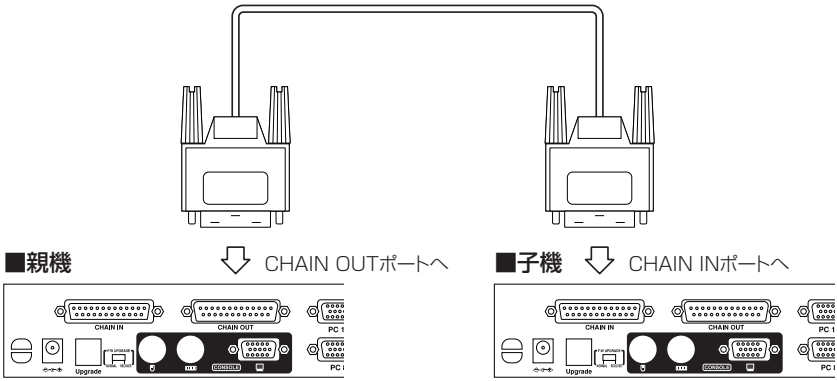
デイジーチェーン接続で運用する場合

より多くのパソコンをコントロールするために、本商品はデイジーチェーン接続に対応しています。CG-PC16KVMHGRを32台（親機を含む）までデイジーチェーン接続をすることにより、最大512台までのパソコンを切替可能となります。デイジーチェーン接続をするには、次の手順で接続してください。

注意　**本商品とデイジーチェーン接続可能な機種は、CG-PC8KVMHGR および CG-PC16KVMHGR のみとなります。**

1　コンソール側のキーボード・マウス・モニタの各ケーブルを、本商品背面のPS/2ポートとVGAポートに、それぞれ接続します（ポートはPC99準拠のカラーリングが施されています）。接続方法はP.11の手順1をご覧ください。

2　デイジーチェーンケーブル（別売）を使用して、親機のCHAIN OUTポートと子機のCHAIN INポートを接続します。



3　デイジーチェーン接続するCG-PC8KVMHGRまたはCG-PC16KVMHGRを追加する場合は、手順１と２を繰り返します。

4　KVMケーブル（別売）を使用して、空いているCPUポートにパソコンを接続します。接続方法はP.12の手順２をご覧ください。

5　次のように、接続した機器の電源をオンにします。

①1台目のステーションにACアダプタを接続すると、Station IDが検出され、本商品前面のStation ID LEDが表示されます（表示には少し時間がかかる場合があります）。デイジーチェーン接続の場合、Station IDは１台目が「01」、２台目が「02」、３台目が「03」…となります。
②1台目の起動後、２台目のステーションにACアダプタを接続し、①と同様にStation ID LEDが表示されるのを確認してください。３台目以降も同じ手順を繰り返します。
③すべてのステーションが起動したのを確認したら、パソコンの電源をオンにしてください。

以上で接続は完了です。

ホットプラグについて

本商品はホットプラグに対応しておりますので、コンポーネントの追加や取り外す場合、接続した機器の電源をオフにする必要はありません。ホットプラグ機能が適切に動作するように、ケーブルの接続作業は次のように行ってください。

■ステーション位置の変更

デイジーチェーン接続でのステーション位置の変更は、古い親機からデイジーチェーンケーブルを抜き、新しい親機に接続するだけです。ケーブル接続の変更後、OSDメニューでステーション位置変更を反映させるために、Station IDのリセットを行う必要があります。詳細については、「RESET STATION IDS」（P.31）をご覧ください。

■CPUポートのホットプラグ

CPUポートに接続したパソコンの位置変更を行った場合は、手動でOSDメニューのポート情報を変更する必要があります。詳細については、OSDファンクションF3 SET下部メニューの「SCAN/SKIP MODE」（P.28）およびF4 ADM下部メニュー（P.28）をご覧ください。

接続するパソコンがホットプラグに対応していない場合、CPUポートのホットプラグ機能は適切に動作しません。

■コンソールポートのホットプラグ

本商品のPS/2ポートおよびモニタポートは、すべてホットプラグに対応しています。ただし、マウスについては次の点に注意してください。

- 同じ機種のマウスについては、自由にホットプラグを行うことができます。
- 異なる機種のマウスを接続する場合は、構成のすべてのステーションおよび接続されているパソコンを再起動する必要があります。再起動については、「本商品を再起動する」（P.15）をご覧ください。

ホットプラグ後にキーボードやマウスが反応しなくなった場合、Resetボタンを使ってキーボードおよびマウスのリセットを行ってください。Resetボタンについては「各部の名称と機能」（P.9）をご覧ください。

ポートID番号

本商品のCPUポートにはそれぞれ個別のポートIDが割り当てられています。このポートIDはステーション番号とポート番号の２つの番号で構成されています。

- **ステーション番号**
  デイジーチェーン接続内でのステーション位置を示す２桁の数字のことです。
- **ポート番号**
  パソコンが接続されているステーションのポートを示す２桁の数字のことです。

番号は、ステーション番号→ポート番号の順で表示されます。１～９までのステーションおよびポート番号は十の位に0がつきます（01～09と表示されます）。例として、ステーション12のポート６に接続されたパソコンは、ポートIDが「12-06」となります。

本商品を再起動する

本商品を再起動する場合は、次の手順で行ってください。

1　電源を切るユニットに接続している全てのパソコンをシャットダウンします。

キーボードに起動機能がついているパソコンが接続されている場合は、そのパソコンの電源ケーブルも抜いてください。

2　本商品のACアダプタの電源ケーブルをコンセントから外します。

3　10秒以上たったら、電源ケーブルをコンセントに接続します。

4　本商品が起動しましたら、パソコンの電源を入れます。

２台以上のステーションをシャットダウンした場合は、まず最上部のステーションの電源をオンにし、その後順に上部から下部へと電源をオンにしてください。

以上で本商品の再起動が完了しました。

本商品の電源をオフにする

本商品の電源をオフにするは、次の手順で行ってください。

1　電源を切るユニットに接続している全てのパソコンをシャットダウンします。

キーボードに起動機能がついているパソコンが接続されている場合は、そのパソコンの電源ケーブルも抜いてください。

2　10秒以上たったら、電源ケーブルをコンセントから外し、本商品のACアダプタをDCジャックから外します。

以上で本商品の電源がオフになりました。

PART 3

ホットキーでの操作

ホットキーとは

本商品はホットキーを使用することにより、キーボードから直接指定したパソコンにコントロールを切替えることができます。本商品はホットキーにより、次のような機能を備えています。

・アクティブなポートの選択
・オートスキャン
・前後のポートへの切替

ホットキーモードへの切替方法

ホットキーによる操作を行うには、コンソール側のキーボードをホットキーモード(HKM)切替えて行います。ホットキーモードへ切替えるは、次の手順で行います。

1　キーボードの［Num Lock］キーを押したまま、［*］（アスタリスク）キーまたは［-］（マイナス）キーを押し、すぐに離します。

2　［Num Lock］キーを離します。

注意　**［*］または［-］キーは押してからすぐ（0.5秒ほど）離してください。すぐに離さないと入力が無効になります。**

ホットキーモードが有効になると、キーボードとマウス、モニタが次のような状態になります。

・キーボードのCaps LockとScroll LockのLEDが交互に点滅します。これはホットキーモードが有効になったことを表します。
・モニタにコマンドラインが表示されます。表示された画面には、青い背景に黄色の文字で、入力したホットキーコマンドが表示されます。
・通常のキーボードやマウスの入力は無効になり、ホットキーの入力とマウスのクリックのみが有効になります。

注意　**ホットキーモードではテンキー使用に制限があります。［-］キーは使用できますが、数字の入力は無効となり、対応する矢印キーとして動作してしまいます。数字を入力するには、キーボード上部のキーを使用してください。**

■ホットキーモードを解除するには

ホットキーモードを解除するには、キーボードの［Esc］キーを押すと解除されます。

アクティブなポートの選択

それぞれのCPUポートは、ポートIDを割り当てられています（ポートID番号についてはP.15をご覧ください）。ホットキーを使用してポートIDを指定することにより、CPUポートに接続されたパソコンに直接アクセスすることが可能になります。ポートを選択するには、次の手順を行ってください。

1　ホットキーモードに切替えます。切替方法は「ホットキーモードへの切替方法」（P.17）をご覧ください。

2　切替えるパソコンのポートID番号を入力します。ポートID番号はディスプレイ上にコマンドラインにて表示されます。

間違った番号を入力した場合は［Backspace］キーにて修正してください。

3　［Enter］キーを押します。

以上で指定したポートIDに接続されたパソコンに切替ります。操作後、ホットキーモードは自動的に解除されます。

オートスキャン

オートスキャンとは、アクセス可能なすべてのCPUポートに対し、モニタに画面を一定の間隔で切替えながら表示します。この機能は複数のパソコンの動作を自動的に監視するのに便利です。

■スキャンインターバルの設定

オートスキャンで各ポートを表示するインターバル時間の設定は、OSDのF3 SET機能（詳細はP.27をご覧ください）で行いますが、ホットキー操作によっても設定変更が可能です。設定するには、次の手順を行ってください。

1　ホットキーモードに切替えます。切替方法は「ホットキーモードへの切替方法」（P.17）をご覧ください。

2　［T］、［n］と入力します。［T］は［T］キー、［n］は任意の数字です。設定可能な秒数は１～255秒ですので、［n］には「1～255」の値を入力します。［T］キーと入力した数字はコマンドライン上に表示されます。

間違った値を入力した場合は［Backspace］キーにて修正してください。

3　［Enter］キーを押します。

［Enter］キーを押した後は、自動的にホットキーモードは解除され、指定のとおりオートスキャンモードを実行する設定になります。

■オートスキャンを開始する

オートスキャンを開始するには、次のホットキー操作を行ってください。

1　ホットキーモードに切替えます。切替方法は「ホットキーモードへの切替方法」（P.17）をご覧ください。

2　［A］キーを押します。［A］キーを押した後、自動的にホットキーモードは解除され、オートスキャンが開始されます。

- **オートスキャンモードで動作中、特定のポートで［P］キーを押す、もしくは、マウスの左クリックを行うと一時停止状態になります。この状態の時は、コマンドライン表示により、Scan：Paused と表示されます。**
- **オートスキャン状態をストップするには2つの方法があり、一つがこの一時停止機能です。一時停止機能はオートスキャンモードを完全に終了させるよりも便利です。オートスキャンを終了してしまうと、次に再開したときは構成の最初のパソコンからスキャンを行うことになりますが、一時停止からのスキャン再開は、停止していたポートの次のポートからスキャンされます。**
- **一時停止からの再開は、任意のキーを入力する、もしくはマウスを左クリックしてください。**
- **オートスキャンモード時は、通常のキーボード入力とマウス機能は無効になります。オートスキャン中に実行可能なキー入力とマウスクリックのみ可能となります。通常のキー入力を行う場合は、オートスキャンモードを終了してください。**

■オートスキャンを終了する

オートスキャンを終了するには、[Esc] または [スペース] キーを押してください。この操作によって、いつでもオートスキャンモードを終了させることができます。

スキップモード

スキップモードとは、パソコンからパソコンへの切替えを手動で行うことを指します。一定間隔で自動的に切替わるオートスキャンモードとは違って、スキップモードでは特定のポートを表示させておく時間を自由に決めることができます。

■スキップモードを開始する

スキップモードを開始するには、次のホットキー操作を行ってください。

1　ホットキーモードに切替えます。切替方法は「ホットキーモードへの切替方法」（P.17）をご覧ください。

2　キーボードの [矢印] キーを入力します。切替えたい操作は、次のキーが割り当てられています。また、[矢印] キーを入力後、自動的にホットキーモードは解除されます。

- [←] を押すと、現在のポートより一つ前のアクセス可能なパソコンに切替ります。
- [→] を押すと、現在のポートより一つ後ろのアクセス可能なパソコンに切替ります。
- [↑] を押すと、接続の一つ前にあるステーションの、最後のポートに接続されたパソコンに切替ります。現在 1 台目のステーションのポートに接続されたパソコンを表示している場合は、最後のステーションの最後のポートに接続されたパソコンに切替ります。
- [↓] を押すと、接続の一つ後ろにあるステーションの、最初のポートに接続されたパソコンに切替ります。現在最後のステーションのポートに接続されたパソコンを表示している場合は、1台目のステーションの最初のポートに接続されたパソコンに切替ります。

・一度スキップモードを実行すると、矢印キーを押すたびにスキップ操作を実行できますので、毎回ホットキーモード呼び出しの操作をする必要はありません。

・スキップモードを実行している間、通常のキーボードとマウス機能は無効となり、スキップモード中に有効なキー入力のみ可能となります。通常のキー操作をする必要がある場合は、スキップモードを終了してください。

■スキップモードを終了する

スキップモードを終了するには、［Esc］または［スペースキー］を押してください。

ビープ音コントロール

ビープ音のオン／オフはOSDファンクションで設定しますが（詳細はP.30をご覧ください）、ホットキー操作によっても設定することが可能です。設定するには、次の手順を行ってください。

1　ホットキーモードに切替えます。切替方法は「ホットキーモードへの切替方法」（P.17）をご覧ください。

2　[B] キーを押してください。[B] キーを押すと、ビープ音オン／オフが切替ります。設定確認のために、コマンドラインでBeeper On/Beeper Offの文字が1秒間表示されます。

以上で設定は終了です。操作後は自動的にホットキーモードは解除されます。

ホットキー一覧表

[Num Lock] ＋ [*]（または［-］）	[ポートID番号] [Enter]	入力したポートIDのポートに接続されたパソコンにアクセスします。
	[T]［n］[Enter]	オートスキャンのインターバルを設定します。[n] は秒数を表し、1～255秒の間で設定します。
	[A]	オートスキャンを実行します。オートスキャン時は、[P] または左クリックで一時停止になります。オートスキャンが一時停止状態で、任意のキーを押すか、左クリックすることによって、オートスキャンを再開します。
	[←]	スキップモード時に、現在のポートより一つ前のアクセス可能なパソコンに切替ります。
	[→]	スキップモード時に、現在のポートより一つ後ろのアクセス可能なパソコンに切替ります。
	[↑]	スキップモード時に、接続の一つ前にあるステーションの、最後のポートに接続されたパソコンに切替ります。現在1台目のステーションのポートに接続されたパソコンを表示している場合は、最後のステーションの最後のポートに接続されたパソコンに切替ります。
	[↓]	スキップモード時に、接続の一つ後ろにあるステーションの、最初のポートに接続されたパソコンに切替ります。現在最後のステーションのポートに接続されたパソコンを表示している場合は、1 台目のステーションの最初のポートに接続されたパソコンに切替ります。
	[B]	ビープ音のオン／オフを交互に切替えます。

PART 4

OSDメニューについて

OSDとは

OSDとは「オンスクリーンディスプレイ」の略称で、本商品に接続されているパソコンの操作および切替えを、モニタに表示された画面で行う機能です。すべての操作はOSDメイン画面から始めます。

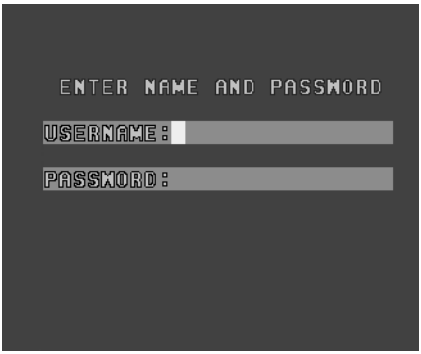
■OSDメイン画面を表示するには

OSDメイン画面を表示するには、キーボードの［Scroll Lock］キーを２回押します。

注意

・OSDメイン画面を表示するキーは、［Scroll Lock］キー2回押しから［Ctrl］キー2回押しに変更することもできます。変更方法については、P.27をご覧ください。
・［Ctrl］キーに変更した場合、［Ctrl］キーはキーボードの同じ［Ctrl］キーをお使いください。

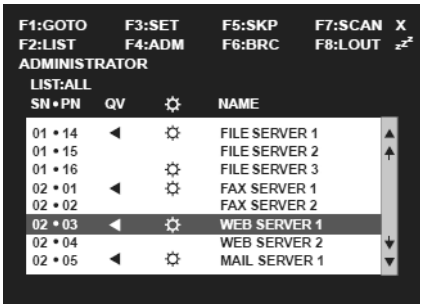
［Scroll Lock］キーを２回押すと、ユーザネームとパスワードを入力する画面が表示されますので、OSDを初めて起動した場合は、入力画面で［Enter］キーを２回押してください(初回ログイン時にパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください)。最初のログイン時には、OSDはアドミニストレータモードで表示されます。このモードでは、ユーザはアドミニストレータ権限を持ち、すべての機能を使用することができます。



メモ

OSDのパスワードは、「アドミニストレータ」と「ユーザ」の2種類のパスワードを設定することができます。

OSD が起動すると、次のような画面がモニタに表示されます。



注意

- **画面はアドミニストレータモードのものです。ユーザモードではアドミニストレータのみが使用できる F4、F6 ファンクションは表示されません。**
- **OSD は常にリスト表示され、選択時に使用するハイライトバーは前回 OSD 終了時の位置を復元して表示されます。**
- **ユーザモードでは、管理者によってそのユーザにアクセス権限が与えられているポートのみが表示されます。**

OSDの使用方法

OSD は次のように使用します。

- リスト表示の上下の行に移動したい場合は、「▲」および「▼」をクリックするか、キーボードの［↑］および「↓」キーを使用します。表示されているリストの中に多くのパソコンが表示されている場合は、リスト画面がスクロールします。
- リスト表示の画面を上下に切替えたい場合は、画面の「↑」および「↓」をクリックするか、キーボードの［Page Up］および［Page Down］キーを使用します。表示されているリストの中に多くのパソコンがある場合は、リスト画面がスクロールします。
- ポートを切替える場合は、リスト画面でダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させて［Enter］キーを押します。
- ログアウトするには、OSD メイン画面上部の［F8］または［ ］をクリックし、［Y］キーまたは［F8］キーを押します。
- OSD を終了するには、OSD メイン画面右上にある「×」をクリックするか、［Esc］キーを押してください。

メモ

何らかの操作を行った場合、自動的に一段上のメニューに戻ります。

■OSDメイン画面一覧

PN	ポートID番号を表します（ポートID番号についてはP.15をご覧ください）。すべてのCPUポートに番号があります。
QV	クイックビュー時に表示するポートを選択できます（クイックビューポートについてはP.30をご覧ください）。選択したクイックビューポートには矢印が表示されます。
☼	電源がオンになっていて、オンラインになっているパソコンにはこのマークが表示されます。
Name	ポートに対して名前を登録した場合、この項目にポートネームが表示されます（ポートネームの編集についてはP.29をご覧ください）。

OSDファンクション

OSDファンクションでは、OSD操作に関する設定ができます。設定できる項目は、次のとおりです。

・任意のポートへのクイックアクセス
・特定のポートのオートスキャン
・ポートへのアクセス権限の設定
・クイックビューポートの設定
・ポートネームの編集
・ユーザ管理
・システム管理
・OSD設定

■OSDファンクションの使用方法

OSDファンクションは次のように使用します。

・OSDメイン画面の上部にあるファンクションキーをクリックするか、キーボードのファンクションキーを押します。
・サブメニューの選択は、サブメニュー名をダブルクリックするか、リスト表示でハイライトバーを移動させ、「Enter」キーを押してください。
・［Esc］キーを押すと一段上のメニューに戻ります。

ファンクションの各機能については、次のとおりです。

■F1 GOTO

ポートネーム、もしくはポートIDを入力することで、ポート切替えが可能です。

・ポートネームを使用して切替える場合は、［1］キーを押し、ポートネームを入力後［Enter］を押します。
・ポートID番号を使用して切替える場合は、［2］キーを押し、ポートID番号を入力後［Enter］を押します。
・選択をしないでOSDメイン画面に戻るには、［Esc］キーを押します。

ポートネーム、もしくはポートIDの頭文字を入力すると、条件に当てはまるポートがリスト表示されます。ポートネームとポートIDのリスト表示は設定に依存します。設定については、「F2 LIST」をご覧ください。

■F2 LIST

OSDメイン画面に表示するポートの範囲を広げたり、狭めたりすることができます。OSDファンクションの多くは、メイン画面のリストに表示されている中から、選択されたパソコンだけを操作します。

次の表は、サブメニュー画面の選択肢と機能の一覧です。

設定	機能
ALL	パソコンが接続されている、すべてのポートをリストアップします。
QUICK VIEW *	クイックビューポートとして選択されたポートをリストアップします。
POWERED ON	電源が入っているパソコンに接続されているポートをリストアップします。
QUICK VIEW + POWERED ON	クイックビューポートとして選択され、電源がオンのコンピュータが接続されたポートをリストアップします。

クイックビューポートの設定は、アドミニストレータモードでログインした場合のみ設定できます。詳細については、P.29をご覧ください。

ポートを選択するには、リストでハイライトバーを移動して［Enter］キーを押してください。切替わるとアイコンが現われ、現在選択したポートIDを表示します。

■F3 SET

各ユーザの使用環境を設定します。設定して内容は、ユーザのログイン時に反映されます。設定を変更するには、次の手順を行ってください。

1　F3 SET の項目をダブルクリックするか、ハイライトバーを項目へ移動させて［Enter］キーを押します。

2　表示されたサブメニューの変更する項目をダブルクリックするか、［矢印］キーでハイライトバーを移動して［Enter］キーを押します。

表示されたアイコンは、現在選択されている項目を表します。設定項目についてのは、次の表のとおりです。

設定	機能
OSD HOTKEY	OSD メイン画面を起動するホットキーを設定します。［Scroll Lock］か［Ctrl］キーの２回押しを選択できます。工場出荷時は［Scroll Lock］が設定されています。
PORT ID DISPLAY POSITION	OSD メイン画面の任意の位置にポート ID ディスプレイを表示することができます。工場出荷時は画面の左上が設定されています。表示位置を変更するには、矢印キーを使うか、マウスを使ってクリックし、［Enter］を押して位置を決定します。
PORT ID DISPLAY DURATION	ポートの変更が行われた後、モニタ画面にポートIDを表示する時間を決定します。「User　Defined」を選択し場合は、設定時間を「1 ～ 255 秒」の間に指定し、［Enter］を押して設定します。「Always On」を選択し場合は、ポート ID を常に表示します。また、「User　Defined」で「0 秒」に設定すると、この機能は使用できなくなります。工場出荷時には「3 秒」に設定されています。
PORT ID DISPLAY MODE	ポートIDの表示方法を選択します。ポート番号のみを表示する「PORT NUMBER」、ポートネームのみを表示する「PORT NAME」、ポート番号とポートネームの両方を表示する「PORT NUMBER + PORT NAME」が選択できます。工場出荷時には「PORT NUMBER + PORT NAME」が設定されています。
SCAN DURATION	オートスキャン実行時に、表示するインターバルの時間を設定します。「1 ～ 255 秒」までの秒数を指定し、［Enter］を押して設定します。工場出荷時には「5 秒」に設定されています。また、ここで秒数を「0 秒」に設定すると、オートスキャンは使用できなくなります。オートスキャンについては、「F7 SCAN」（P.33）をご覧ください）。

設定	機能
SCAN/SKIP MODE	スキップモードとオートスキャンモードを実行する際、どのパソコンにアクセスするかを設定します。次の４つの方法が選択できます。工場出荷時は「ALL」が設定されています。 ■「ALL」 アクセス可能な全てのポートを表示します。 ■「QUICK VIEW」 アクセス可能で、クイックビューポートとして設定されたポートのみを表示します。 ■「POWERED ON」 アクセス可能で、パソコンの電源がオンのポートのみを表示します。 ■「QUICK VIEW + POWERED ON」 アクセス可能で、クイックビューポートとして設定され、かつ電源がオンのポートのみを表示します。
SCREEN BLANKER	コンソールからの入力が無い場合に、画面を非表示にする時間を設定します。「1 ～ 30 分」までの時間を入力し、[Enter] を押して設定します。「0 分」に設定すると、この機能は使用できなくなります。工場出荷時は「0 分」（使用不可）が設定されています。
HOTKEY COMMAND MODE	パソコンで動作中のプログラムとホットキー操作が競合する場合などに、ホットキーコマンドの「ON ／ OFF」が設定できます。工場出荷時は「ON」（使用可能）が設定されています。

■F4 ADM

この機能は、アドミニストレータのみが使用できます。この機能によりアドミニストレータは OSD の操作全体を設定・管理することができます。設定を変更するには、次の手順を行ってください。

1　画面でF4 ADMの項目をダブルクリックするか、または上下の矢印キーを使ってハイライトバーを移動させ、[Enter] を押します。

2　表示されたサブメニューの変更する項目をダブルクリックするか、[矢印] キーでハイライトバーを移動して [Enter] キーを押します。

表示されたアイコンは、現在選択されている項目を表します。設定項目についてのは、次の表のとおりです。

設定	機能
SET USERNAME AND PASSWORD	アドミニストレータ 1 人およびユーザ 4 人のユーザ名とパスワードが設定できます。設定方法は次のとおりです。 1　ユーザフィールド、またはアドミニストレータフィールドのうち、1つを選択すると、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザ名とパスワードは英数字（A～Z、0～9） のうち、最大 15 文字までの組み合わせが可能です。 2　ユーザ名とパスワードを入力したら、[Enter] を押します。 また、以前のユーザ名またはパスワードを修正・消去する場合は、文字と数字をバックスペースキーを用いて消してください。 **注意　アドミニストレータに設定したユーザ名とパスワードは、忘れないように必ず控えをお取りください。忘れてしまった場合、本商品の操作ができなくなる可能性があります。**
SET LOGOUT TIMEOUT	コンソールから一定時間入力が無い場合、自動的にログアウトする時間が設定できます。「1 ～ 180分」までの時間を入力し、[Enter] を押して設定します。「0分」に設定すると、この機能は使用できなくなります。工場出荷時は「0分」（使用不可）が設定されています。また、一度ログアウトした場合は、再度ログインする必要があります。
EDIT PORT NAMES	どのポートにどのパソコンが接続されているか覚えやすくするために、各ポートに名前をつけることができます。アドミニストレータモードでポートネームを設定・編集・削除することができます。ポートネームを編集するには、次の手順を行ってください。 1　編集したいポートをクリックするか、[矢印] キーでハイライトバーを移動させて［Enter］を押します。 2　新しいポートネームを入力するか、以前のポートネームを訂正／削除してください。使用できる文字は半角英数字の「A～Z」、「1 ～9」、「+ - / : . スペース」です（入力時は大小文字は関係ありません。OSDではすべて大文字で表示されます）。また、使用できる文字数は 12 文字までです。 3　編集が終了したら [Enter] を押して、その変更を有効にしてください。また、変更を途中で止める際には、[Esc] を押してください。

設定	機能
RESTORE DEFAULT VALUES	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。ただし、ポートネームとクイックビューおよびユーザ名とパスワードの設定は変更されません。
CLEAR THE NAME LIST VALUES	「RESTORE DEFAULT VALUES」と異なり、すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、ポートネームとクイックビューの設定も削除します。ただし、ユーザ名とパスワードの設定は変更されません。
ACTIVATE BEEPER	ビープ音の設定を行います。「Y」（ビープ音有）を選択した場合、ポートが変更された場合や、オートスキャンが有効になっている場合、OSDメニューで無効な入力がされた時にビープ音が鳴ります。工場出荷時は「Y」（ビープ音有）が設定されています。
SET QUICK VIEW PORT	どのポートをクイックビューポートとして選択するかを設定します。設定の際、現在OSD画面でリストビューとして選択されているポートのみが表示されますのでご注意ください。工場出荷時には何も設定されていません。 1　設定するポートをダブルクリックするか、[矢印] キーでハイライトバーを移動させて［スペースキー］を押します。 2　選択したポートの、メイン画面のリストの「QV」列に矢印が表示されていることを確認します（選択されていない場合には、矢印は表示されません）。 設定の際には、次の点にもご注意ください。 ・F2 LISTにクイックビューオプションの一つが選択されている場合、ここで選択されたポートだけがリストに表示されます。 ・オートスキャンにクイックビューのオプションのうち１つが選択された場合、ここで選択されたポートだけがオートスキャンされます。

設定	機能
SET ACCESSIBLE PORT	ポートごとにユーザのアクセス権を決定できます。設定はアドミニストレータで行う必要があります。各ユーザに対し対象ポートを選択し、[スペースキー] を押すと表示が「F」（すべての操作が可能）／「V」（閲覧のみ）／「ブランク」の順に切替りますので、設定する権限を選択します。全てのユーザのアクセス権を設定するまでこの動作を繰り返し、設定が完了したら [Esc] を押します。工場出荷時は「F」（すべての操作が可能）が設定されています。なお、「ブランク」を設定すると、ユーザにはアクセス権が与えられていないこととなり、設定したポートはメイン画面のユーザのリストには表示されません。
RESET STATION IDS	デイジーチェーン接続時に、ステーション構成を変更した場合に実行します。ステーション構成を変更した場合には、OSDで構成の再検出を行い、新しい物理的構成をリスト表示させる必要がありますので、必ず実行してください。また、この機能でアップデートされるのはステーション番号のみですので、ポートネーム、アドミニストレータによる設定（アクセス可能ポートの設定、クイックビューポートの設定など）を除いて、ステーション構成の変更によって影響を受ける設定は、すべて設定しなす必要がありますのでご注意ください。
FIRMWARE UPGRADE	本商品のファームウェアをアップグレードする場合、はじめにこの機能でファームウェアアップグレードモードにする必要があります。[Y] を押すとファームウェアアップグレードモードになり、[N] を押すとこのメニューを終了します。また、このメニューを表示すると、現在のファームウェアバージョンが表示されます。

■F5 SKP

F5 SKPを使用すると、現在表示しているパソコンの前後の有効なポートに簡単にスキップすることができます。この機能を使用するには、F5 SKPをクリックするか、［F5］を押します。

> **メモ** **スキップモードによる切替えが利用できるパソコンは、「F3　SET」の「SCAN/SKIP MODE」（P.28）で選択します。**

スキップモードの操作は次の通りです。

- ［←］を押すと、リスト表示中の一つ前のパソコンに切替ります。
- ［→］を押すと、リスト表示中の一つ後ろのパソコンに切替ります。
- ［↑］を押すと、接続の一つ前にあるステーションの、最後のポートに接続されたパソコンに切替ります。
- ［↓］を押すと、接続の一つ後ろにあるステーションの、最初のポートに接続されたパソコンに切替ります。

> **注意**
> - **スキップ機能で切替えるときは、SCAN/SKIPモードで選択されているポートに移動します。**
> - **ポートがスキャン／スキップモードとして選択されていた場合は、そのポートに切替った際、ポートIDディスプレイの前に左／右向き三角形が表示されます。**
> - **スキップモードが有効になっている時には、コンソールは機能しません。コンソールを使用するには、スキップモードを解除してください。**
> - **スキップモードを解除するには、［スペースキー］または［Esc］を押してください。**

■F6 BRC

F6 BRC（ブロードキャスト）はアドミニストレータのみが使用できる機能です。この機能を有効にすると、コンソールから送られたコマンドは接続中の利用できるパソコン全てに実行され、システムをシャットダウンさせたり、アップグレードさせるソフトウェアをインストールしたりするなど、複数のパソコンを操作する必要がある時に、非常に便利です。この機能は、F2 LISTと併せて使用します。LIST機能はOSDメイン画面に表示するポートの範囲を広げたり、狭めたりするのに使用されます。OSDメイン画面に現在表示されたポートに対して、コマンドを同時に実行します。

この機能を使用するには、F6 BRCをクリックするか、［F6］を押します。

- BRC モードが有効の場合、マウスは機能しません。マウスを使用するときは、BRC モードを解除してください。
- 本商品に接続したパソコンが、パソコンごとに違うバージョンのOSを使用している場合や、キーボードショートカットなどが変更されている場合、BRC モードは動作しません。

- BRCモードが有効の場合、現在指定しているポートのポートIDディスプレイの前にスピーカーマークが表示されます。
- BRC モードが設定されると、ビープ音が 1 回鳴ります。
- BRC モードが解除されると、ビープ音が 2 回鳴ります。

BRCモードを解除するには、ホットキーでOSDを呼び出し、F6 BRCをクリックするか、［F6］を押します。

■F7 SCAN

この機能は、一定間隔にて設定されたパソコンを自動的に切替えて表示することができます。この機能を使用するには、F7 SCAN をクリックするか、［F7］を押します。

- F3 SETで設定されたSCAN/SKIP MODE（P.28）を使用して、オートスキャンするパソコンを選択します（各ポートを表示する時間は、F3 SETのSCAN DURATION（P.27）で設定できます）。
- 表示されているパソコンにオートスキャンでアクセスしている場合、ポートIDディスプレイの前に「S」の文字が表示されます。
  オートスキャン中、スキャンを一時停止して特定のパソコンに切替える場合は、［P］を押すか、マウスの左ボタンをクリックします。
- オートスキャンを停止するには、［スペースキー］を押します。
- オートスキャン中、パソコンの接続されてないポートや、電源オフになっているポートをスキャンした場合、モニタ画面には何も表示されず、マウスやキーボードは機能しません。この状態で SCAN DURATION（P.27）で設定した時間が経つと、表示は次のポートへ移動します。
- オートスキャン中はコンソールは機能しません。コンソールを使用する場合は、オートスキャンモードを解除してください。
- オートスキャンモードを解除するには、［スペースキー］または［Esc］を押してください。

■F8 LOUT

F8 LOUTをクリックするか、[F8] を押すとOSD操作からログアウトし、モニタ画面には何も表示されなくなります。この操作は、OSD画面から出るために [Esc] を押すのとは異なり、OSDにアクセスするには、再度ログインしなければなりません。

- **OSDからログアウト後に再びOSDを表示した場合、OSDメインメニュー以外は表示されません。ユーザネームとパスワードを入力後、使用可能になります。**
- **ログアウト後に再び OSD を表示し、メニューからポートを選択しないで [Esc] キーを使用して OSD を閉じると、ポートが選択されていない状態になり、画面には Null Port 無効ポートメッセージが表示されます。**

PART 5

付　録

トラブルシューティング

●動作が不安定

→供給電力が不十分ではありませんか？　本商品にACアダプタが適切に接続されているかご確認ください。

●キーボード／マウスが反応しない

→キーボード･マウスのリセットができていますか？　コンソールポートに接続したキーボード・マウスのケーブルを抜き差ししてみてください。

●デイジーチェーン接続の際、Station ID がすべて 01 と表示される

→本来「01」と表示される親機への電力供給が突然失われたことが考えられます。しばらく待つとユニットが自動的にステーション位置を検出し、適切なステーション ID 番号を表示します。

●パソコンの電源がオフの状態で ON LINE LED が点灯する

→お使いのキーボードに起動機能がついていませんか？　キーボードに起動機能がついている場合、ON LINE LED が点灯する場合があります。

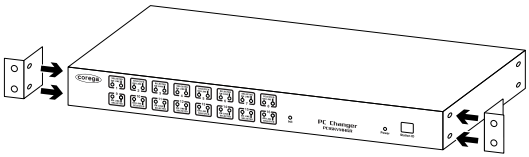
● OSD メニューのログイン名・パスワードを忘れてしまった

→「ユーザ」権限のログイン名･パスワードを忘れた場合は、「アドミニストレータ」権限を持つ管理者にお問い合わせください。「アドミニストレータ」権限のログイン名･パスワードを忘れた場合は、サービスにてお取り扱いいたしますので、「修理について」（P.38）をご覧いただき、ご購入された販売店へお持ちください。

ラックマウントキットの使用方法

本商品は19インチシステムラックに1Uサイズでマウント可能になっています。ラックの手前側･奥側のどちらでも設置できるように設計された付属のラックマウントタブを本体にネジ止めしていただくだけでマウント準備は完了します。タブの取り付けは、次の図をご覧いただき、ご紹介する手順で行ってください。

1　ラックマウントタブを、本商品側面のフロントパネル側またはリアパネル側にネジ止めします。



2　ユニットをラックにスライドさせて収納し、しっかりとネジ止めします。

以上で設置は完了です。

パソコン接続表

次の表は、スイッチの台数とデイジーチェーン接続を利用して接続できるパソコンの最大数の関係を表したものです。

■CG-PC8KVMHGR

ID	パソコン	ID	パソコン	ID	パソコン	ID	パソコン
1	1～8	9	65～72	17	129～136	25	193～200
2	9～16	10	73～80	18	137～144	26	201～208
3	17～24	11	81～88	19	145～152	27	209～216
4	25～32	12	89～96	20	153～160	28	217～224
5	33～40	13	97～104	21	161～168	29	225～232
6	41～48	14	105～112	22	169～176	30	233～240
7	49～56	15	113～120	23	177～184	31	241～248
8	57～64	16	121～128	24	185～192	32	249～256

■CG-PC16KVMHGR

ID	パソコン	ID	パソコン	ID	パソコン	ID	パソコン
1	1～16	9	129～144	17	257～272	25	385～400
2	17～32	10	145～160	18	273～288	26	401～416
3	33～48	11	161～176	19	289～304	27	417～432
4	49～64	12	177～192	20	305～320	28	433～448
5	65～80	13	193～208	21	321～336	29	449～464
6	81～96	14	209～224	22	337～352	30	465～480
7	97～112	15	225～240	23	353～368	31	481～496
8	113～128	16	241～256	24	369～384	32	497～512

工場出荷時のOSD設定一覧

工場出荷時の OSD 設定は、次の表のようになっています。

項目	初期設定
OSD Hotkey	［Scroll Lock］2回押し
Port ID Display Position	画面左上隅
Port ID Display Duration	3秒
Port ID Display Mode	ポート番号＋ポートネーム
Scan Duration	5秒
Scan/Skip Mode	ALL
Screen Blanker	0秒（使用不可）
Logout Timeout	0秒（使用不可）
Beeper	Y（ビープ音有り）
Accessible Ports	F（フルアクセス） すべてのユーザがすべてのポートにアクセス可能

商品仕様

型番		CG-PC8KVMHGR	CG-PC16KVMHGR
取得承認		VCCI クラスB	
対応機種		ミニD-SUB 15pinのディスプレイ出力端子とキーボード、マウス用PS/2端子を搭載しているDOS/Vパソコン（※1）	
対応OS		Windows XP/2000/Me/98SE、Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、Linux（※2）	
インタフェース			
コンソール用コネクタ		ディスプレイ:ミニD-Sub（15pin）メス×1、 キーボード:ミニDIN（6pin）メス×1、マウス:ミニDIN（6pin）メス×1	
パソコン用コネクタ		SPHD（15pin）メス×8	SPHD（15pin）メス×16
デイジーチェーン用コネクタ		IN:D-Sub（25pin）メス×1、OUT:D-Sub（25pin）オス×1	
ファームウェアアップデート用コネクタ		RJ-11メス×1	
最大解像度		1,920×1,440（※3）	
電源			
AC アダプタ	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）	
	定格入力電流	450mA	
本体	最大消費電力	7.5W	8W
環境条件	動作時	温度:0～40℃／湿度:80%以下（結露なきこと）	
	保管時	温度:−20～60℃／湿度:80%以下（結露なきこと）	
外形寸法（本体のみ）		433（W）×155（D）×44（H）mm（突起部含まず）	
質量（本体のみ）		2.6kg	2.8kg

※1:自作パソコンや本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどで増設したパソコンはサポート対象外となります。
※2:Linuxはサポート対象外となります。
※3:ご使用いただけるディスプレイの解像度はパソコンに搭載のディスプレイアダプタ等の環境によって異なります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上必要事項を記入したものと製品保証書お

よび購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（添付品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

©2005 株式会社コレガ
coregaは、株式会社コレガの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

2005年12月 初版

PRINTED WITH SOY INK

■弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【corega　サポートセンタ】

Mail サポート:下記 URL からユーザ登録をした後、お問い合わせをしてください。

http://corega.jp/faq/

TEL:045-476-6268

FAX:045-476-6294

〈受付時間〉

10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported by Japanese only.

※電話が混み合っている場合は、Mailサポートおよび FAXサポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・商品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・ネットワーク構成
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）